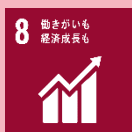


看護職者を対象とした院内研修の評価に関する研究

研究分野:看護学 看護教育学

キーワード:院内研修 研修評価 院内教育担当者

貢献できるSDGsの区分:

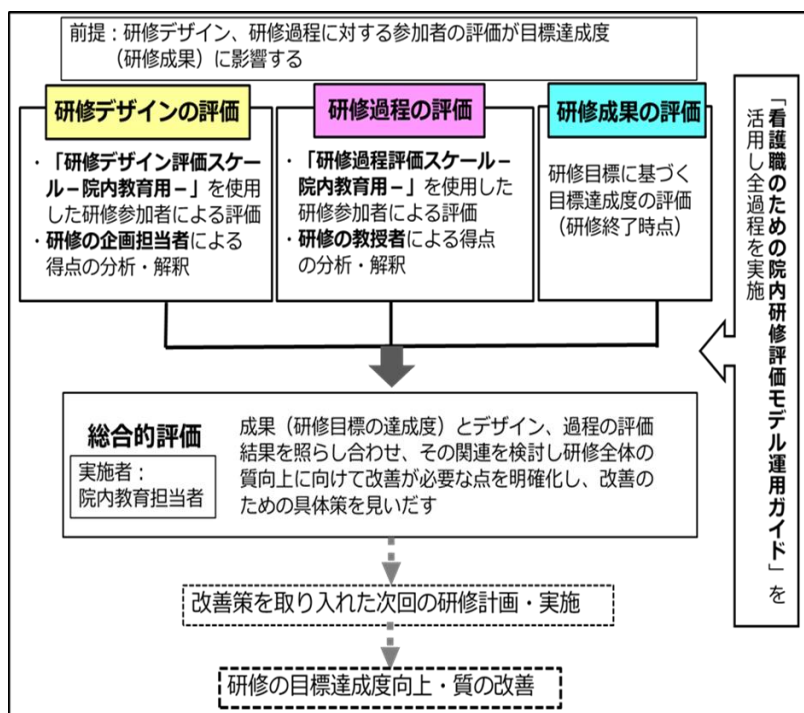


看護栄養学部 看護学科 教授 山澄直美

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/yamasumi/>

研究概要

医療機関において看護職者の教育を担当する看護職の皆様が提供する研修の質を評価し、改善するための「院内研修評価モデルを開発しました(右図)。このモデルは、研修をデザイン、過程、成果の3側面から評価し、改善点を見いだすことを目的にしています。研修のデザイン、研修の過程は、信頼性と妥当性が確認されたスケールを用いて評価します。スケールを用いて数値化することによって、改善すべき点が把握しやすくなります。また、評価は、「院内研修評価モデル運用ガイド」にそって行うことができますようになっていきます。ガイドには、評価の具体的方法が掲載されています。研修の受講者、提供者の両者にとって満足度の高い研修は、看護の質向上に貢献できると考えています。



産学連携の可能性(アピールポイント)

- ・医療機関で看護職者を対象とした院内研修を担当している看護職の皆様に、モデルを用いた評価を行ってもらい、研修評価の有効性を検証する研究を行っています。
- ・モデルを用いた評価によって、研修を総合的に評価し、改善点を見いだすことができます。
- ・ホームページ(<https://www.nursing-ed.jp/>)を開設しています。
- ・モデルを用いた研修評価がしてみたい、詳細について知りたい皆様は、こちらからお気軽にお問い合わせください。

外部との連携実績等

- ・科学研究費補助金 基盤研究C 院内教育担当者の能力向上プログラムの開発ー研修評価に着眼してー(2018-2024)